

一 読み

/12

二 画数

/4

三 送り

/5

四 構成

/6

五 部首

/6

六 対義

/6

七 同音

/7

八 誤字

/7

九 四字

/6

十 書取

/12

合計

/71

合格のめやす
50問(7割)

一

— 線の漢字の読みを、ひらがなで書きましょう。

① 特急電車にのる。

とつきゅう

② 髪を長くのばしてむすぶ。

かみ

③ 左にまがる。

ひだり

④ 毎日健康にすごす。

けんこう

⑤ 酸素をすいこむ。

さんそ

⑥ 八月はなつやすみです。

はちがつ

⑦ お盆にコップをのせる。

おぼん

⑧ 図書室で雑誌を読む。

ざっし

⑨ 算数の授業がある。

じゅぎょう

⑩ 友だちの誕生日をおぼえる。

たんじょうび

⑪ 絵の具を混ぜる。

まぜる

⑫ 友だちが引っこして悲しい。

かなしい

二 次の漢字は、何画で書きますか。数字で書きましょう。

① 救

11

画

② 倉

10

画

③ 格

10

画

④ 聞

14

画

三

——線のことばを、漢字一字と送りがなで書きましょう。

れい

くるまがとまる。

止まる

① 午後から空がくもるでしょう。

曇る

② たがいに助け合って作業をする。

互いに

③ この石は大きいのかかるい。

軽い

④ ふたたび会う日をやくそくする。

再び

⑤ 神社でおがむ。

拝む

四

次の熟語の組み立ては、「」の「ア」「エ」のどれにあたりますか。記号で書きましょう。

ア 同じような意味の漢字を組み合わせたもの(れい 岩石)

イ 反対や対になる意味の漢字を組み合わせたもの(れい 左右)

ウ 上の漢字が下の漢字をくわしくしているもの(れい 青空)

エ 下の漢字が「くを」「くに」にあたるもの(れい 読書)

① 最新

ウ

② 兄弟

イ

③ 衣服

ア

④ 短文

ウ

⑤ 増加

ア

⑥ 恐怖

ア

⑤ ④ ③ ② ① 木 休 れい イ

仕 事 (にんべん) 誤 る あやま 知 識 しぎ (ごんべん) 機 械 かい 材 料 ざい (きへん) 休 む やす (にんべん)

五 部首がつく漢字を□に書きましょう。□の右は読みです。

⑥ ⑤ ④ ③ ② ① 男子 ⇕ 女子

和食 ⇕ 洋食 健康 ⇕ 病気 谷 ⇕ 山 権利 ⇕ 義務 加熱 ⇕ 冷却 大きい ⇕ 小さい

れい 「れいきやく ようしよく やま じよし ぎむ びようき」

六 反対の意味のことばを、「」から えらんで漢字で書きましょう。

住 所 じゆう

七

次の——線のカタカナを、漢字で書きましょう。

① くさった木の柱がクちる。

朽

② 低い峠をコえて次の町へ行く。

越

③ シン度を知らせるニュースを見る。

震

④ タン水魚をかってかんさつする。

淡

⑤ 世界の平和を心からイノる。

祈

⑥ ハンカチでアセをふいて休む。

汗

⑦ ギ曲の台本を読んで練習する。

戯

八

次の文には、同じ読みのまちがった漢字が一字あります。誤字と正しい漢字を、右と左の口に書きましょう。

① 話の要紙を短くまとめる。

紙

正

旨

② 風の低抗を受けて自転車が進みにくい。

低

正

抵

③ 美しい色採の絵をかいだ。

採

正

彩

④ 試験中は先生が教室を鑑視していた。

鑑

正

監

⑤ 窓ガラスに水敵がついている。

敵

正

滴

⑥ 台所用の洗財を買った。

財

正

剂

⑦ 用紙に性名を書いてください。

性

正

姓

九

意味を読んで、□に入る漢字を書き、四字熟語を完成させましょう。

① 厚顔無 恥

あつかましくて、はじを知らないこと。

② 狂喜乱 舞

あまりのうれしさに、みだれておどるようにはしゃぐ。

③ 衆人環 視

おおぜいの人がまわりをとりかこんで見ていること。

④ 縦横無 尽

思いのままに、あちこち自由にはたらくようす。

⑤ 優 柔 不 断

ぐずぐずして、なかなか決められないこと。

⑥ 前人未 到

いまだでだれもたどりつけていないこと。

＋ 線のことばを、漢字で書きましょう。

① べんきようでくろうする。

苦 労

② ほいくえんに通う。

保 育

③ 夜にゆうよくする。

入 浴

④ 大きな声でよぶ。

呼

⑤ もういつかいやってみよう。

一 回

⑥ きよねんの夏は海に行った。

去 年

⑦ てんぶの才能にめぐまれる。

天 賦

⑧ 母のおっとは父だ。

夫

⑨ コンクールでしようじようをもらう。

賞 状

⑩ テントをはる。

張

⑪ アリのうごきをかんさつする。

観 察

⑫ ほしのかたちのクッキーをやく。

形

